

子どもの学びが進化します！

新学習指導要領の完全実施に向けて

～令和2年度から東栄小学校ではこんなところが変わります！～

平成30年度から、新学習指導要領の完全実施に向けた移行期が始まりました。東栄小学校では、本格実施の準備期間として2年間、先取りをした先行実施をしてきました。学習内容が増えたことに伴って授業時数が増え、子どもたちと向き合う時間の確保や教育の質の向上のために、学校の教育活動全体を見直すことにしました。

1 外国語に関する学習の充実

グローバルな社会に通用する人づくりという国全体の教育課題として、小学校の外国語に関する学習内容と時間が増えました。3・4年生が年間35時間、5・6年生が年間70時間です。3・4年生の外国語活動には、外部講師の外国語活動サポーター千葉さんが年間9回授業をしに訪問してくれています。また、5・6年生の外国語にはALTのターナー先生が指導に来てくれています。さらに、旭川市の取組である小中連携事業として、東陽中学校の英語専門の教員による授業を行っています。中学校に入学してから子どもたちが安心して英語の授業を受けることができるようにしています。

2 小学校プログラミング教育

プログラミング教育の目的は、将来どのような職業に就くときにも必要となる「プログラミング的思考」の育成が重要とされています。旭川市では人間型ロボット「Pepper」を導入し、総合的な学習の時間を中心に、小学校3年生から6年生で年間10時間のプログラミング学習の実施をすることになっています。今年度、東栄小学校には冬休み中に「Pepper」が届けられ、3学期に学習しています。

3 特別な教科「道徳科」

これまでもあった道徳が、特別な教科「道徳科」となり、子どもたちの内面の変容や成長を評価することになりました。友達と議論しながら課題を解決したり、自分の生き方に重ねたりして学びを深めるための授業改善の取組を進めてきました。また、通知表には、一人一人の子どもがいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます評価を文章記述で行って来ました。

以上、令和2年4月から完全実施される学習指導要領にゆとりをもって取り組み、スムーズな新校舎への引越ができるように、下記の4つの視点を重視して、東栄小学校の教育活動を大きく見直しました。

- (1) 子どもたちの成長の様子をじっくり、しっかり評価する。
- (2) 子どもたちと向き合う時間を確保する。
- (3) 子どもたちの力が十分引き出される行事になるように計画する。
- (4) 年間を通して家庭との連携を強化する。

令和2年度ココが変わります!

月	評価	学 期
4	前期評価	①教育活動説明 PTA総会
5		②運動会
6		③修学旅行
7		夏休み
8		③宿泊研修 ④教育相談 ⑤東栄まつり
9		④個人懇談
10		⑥学芸会
11	後期評価	○校舎引越 冬休み
12		⑦開校50周年
1		
2		
3		

○評価を「前期」と「後期」の2期で実施します

- ・1学期, 2学期, 3学期という3学期制は変わりません
- ・通知表は9月末, 3月修了式の2回配付になります
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に努め, お子様の学び方や学びの質の高まり, 成長や変容を長いスパンをかけてしっかりと見取ります

①日曜日の全校参観日に変更主旨を共有化します

- ・PTA総会前に, 令和2年度の教育活動の変更点や目的について説明し, 情報共有しながら教育活動を推進します

②運動会は大雪アリーナで実施します(6/7)

- ・令和2~4年度の3年間, グラウンドが完成するまでは大雪アリーナでの実施を計画しています
- ・運動会は午前日程(弁当なし), 現地集合・現地解散です

③宿泊を伴う行事の準備活動の時間を充実します

- ・6年生の修学旅行, 5年生の宿泊研修の実施日を遅らせます
- ・児童の話し合いや準備活動の時間を確保します

④子どもや保護者と成果と課題の共有化をします

- ・前期の終わりに担任と子どもが, 後期の始めに担任と保護者で面談の場を設定します
- ・子どもの成長や変容と今後の努力点を確認します

⑤東栄まつりの実施時期が早まります(9/26)

- ・学校行事の関係から, 9月末の実施と早まります
- ・PTAの組織や活動内容を大きく見直します
- ※令和3年度の新校舎では一端休止します

⑥学芸会の実施日が遅くなります(11/15)

- ・児童の準備活動時間は変わりません
- ・実施時期を遅らせることで, ゆとりをもって活動できるようにします

⑦新校舎落成及び開校50周年記念式典を開催します

- ・新体育館で2月27日(土)の午前中に開催します
- ※内容の詳細は今後検討します

□変更点について, ご質問やご意見, 心配な点がございましたら, (教頭)中島までお問い合わせください。